活動内容

〈 題 〉ペップトーク講演会「やる気を引き出し、信頼関係を築く言葉の力」

学級名 盛岡市立見前小学校PTA

学級担当者 小森 智宏

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- · 構成員 見前小学校教職員、児童、保護者
- ・学級の運営組織 見前小学校教養部(各学級1名)
- ・学習のねらい・重点 相手のやる気を引き出したり励ましたりする、ペップトークの理念や実践方法を学ぶことを 通して、家庭でのコミュニケーションに活かす。

2 学習計画と活動の状況

□	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数		
	7月16	「やる気を引き出し、信頼関係を築	吉田浩規	203名		
	日(火)	く言葉の力」	一般財団法人日本ペップトーク普及	(保護者、5・6年児童、		
			協会認定講師	教職員、地域住民)		
		内容	感想など	ど		
1		〇ペップトークとは何か。	今年度、見前小学校は「ペップトークで笑顔の輪を広げ、力をつ			
		〇励まし方を学ぶ。	けよう」という目標のもと、温かい励ましの言葉をかけ合う学校			
		くとらえかた変換> ・事実を受け入れ、見方を変える。	をめざし取り組んできた。家庭でもペップトークの考え方を広げ			
		・前向きに考える。	ようとこの講演会を企画した。子どもたちとともに、自分の声掛			
		<してほしい変換>	けを振り返ったり、どのような声かけをされたらうれしいかを話			
		・言葉がイメージをつくり現実化	し合ったりした。とらえかたを変換し、してほしい行動を伝える			
		・してほしい行動を伝え、成功のイメージ を共有				
	_		に実践できる内容であり、大変有意義な講演となった。			
	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数		
		内容	感想など			
2			3.0			

3 成果及び今後の課題

(1)	战里.	活動において工夫し	ナー ニ レ	など

- ・子どものやる気を引き出すための言葉がけの方法を学ぶことができ、家庭でもすぐに実践できる内容であった。
- (2) 今後の課題
- 特になし
- (3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など
 - ・特になし